

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療問題調査費			担当部局庁	医政局			作成責任者			
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課、地域医療計画課 救急・周産期医療等対策室			課長：中村 博治			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3程度以内)	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るための検討を行う。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るため、現在の医療体制の問題やあり方等について検討会を開催して、有識者を招聘し検討を行う。										
実施方法	直接実施										
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
		計	57	32	27	27	27				
	執行額	26	19	15							
執行率 (%)		46%	59%	56%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	-	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績							
	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るため、現在の医療体制の問題やあり方等について随時検討会を開催して、有識者を招聘し検討を行い、課題の解決を目的としており、事前に問題を把握することが困難であり、定量的な指標を設定できない。			報告書の作成、制度改正への意見調整を行っている。平成26年度においては、医療法の改正があった。							
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度		
	医療提供体制等の検討会で検討した議題数	総議題数	実績	-	59	20	28	-	-	-	
			目標値	-	60	30	30	-	30		
			達成度	%	98.3	66.7	93.3	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	医療に関する検討会の開催数	活動実績	回	19	10	17	-				
		当初見込み	回	22	22	20	20				
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位当たりコスト = X / Y			単位当たりコスト	百万円	1.3	1.5	0.9	1.4		
	X:「当該年度執行額」 Y:「当該年度検討会の開催数」			計算式	X/Y	26百万円/19回	19百万円/13回	15百万円/17回	27百万円/20回		

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	諸謝金	10	10	
	職員旅費	2	2	
	委員等旅費	2	2	
	庁費	13	13	
	計	27	27	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策実施	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)						
		測定指標	定量的指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るため、現在の医療体制の問題やあり方等について、有識者を招聘し解決策等を検討することで、必要な医療提供体制を整備することができる。								
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-					
		KPI (第一階層)	単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-		
KPI (第二階層)		単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度		
	成果実績	-	-	-	-	-			
	目標値	-	-	-	-	-			
達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
	国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地域の実情に応じた医療サービスの提供体制を構築することは、国が率先して行う必要があり、民間等に委ねることはできない。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	我が国における医療提供体制の一層の質的な充実を図るため、現在の医療体制の問題やあり方について有識者の意見をj得ることは地域の実情に応じた医療サービスを提供するため優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	-
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	地域の実情に応じた医療サービスの提供体制を構築するための調査、検討に必要な経費に限定しており、コストの水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費用・使途については真に必要なものに限定して計上している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	当初の予定回数より議論が早くまとまったもの等により会議の開催回数が見込み回数より少なくなったため。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	検討会等の開催において、費用がかからない省内開催を極力実施するようにし、費用節減に努めている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初の予定回数より議論が早くまとまったもの等により会議の開催数が見込みより少し少ないが、ほぼ見込みとおり。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	医療体制の問題やあり方等についての議論を行った資料等を公表し、また報告書等は各種政策に活用するとともに、HPに掲載することで、広く国民が活用できるようになっている。
点検・改善結果	点検結果	-	あるべき医療提供体制の構築に向けて、社会情勢の変化に応じ検討項目も増加する中、医療法改正などの制度改正へ向けた取組を着実に進めている。
	改善の方向性	-	不用が生じていることから、平成27年度において見直しを行った。今後においても医療提供体制の構築の行く末や執行状況を勘案しながら予算計上を行っていく。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の改善

例年、多額の不要が生じているため、平成27年度予算額において、一定の見直しをされているが、当初見込みに対し、活動実績が低調に推進している要因を分析し、予算額を縮減すること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

医療問題調査費は、突発的に生じる問題に対して対策を検討するために検討会を開催するなど、事前に把握している問題以外にも対応すべき問題が生じた場合に、当該経費で対応するため、執行管理を厳しく行っているところ。今後は、年度の後半に向けて、突発的な問題に対応できるよう予算を確保しつつも、計画的な執行を行うように検討してまいりたい。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	38,41	平成23年度	33	平成24年度	34		
平成25年度	13	平成26年度	13	平成27年度	11		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
15百万円

医療提供体制の一層な質的な充実等を図る
ための検討を行うために必要な経費

A. 事務費
15百万円

諸謝金、委員等旅費等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万
円)

